

<研究テーマ>仲間とかかわり合い、できる喜びを味わうことのできる体育科学習指導の在り方

1 単元 器械運動（跳び箱運動）

2 目標

- 友だちと協力し、励まし合いながら進んで運動に取り組み、場や器具の安全を確かめることができるようにする。（運動への感心・意欲・態度）
- 自分の能力に適した技を選び、自分の課題に適した練習の場や練習法を考えることができるようにする。（運動についての思考・判断）
- 基本的な支持跳び越し技（切り返し系・回転系）に取り組み、自分の能力に適した技が安定してできるようになるとともに、その発展技をできるようにする。（運動の技能）

3 単元について

(1) 教材について

跳び箱運動は、自分の能力に適した課題をめあてとしてもつことができ、できたということが一目瞭然の達成型の運動である。従って、個人差が表れやすかったりめあてが達成できないと楽しむことができなかつたりするが、その分、めあてが達成できたときの喜び・達成感は大い。また、様々な学習形態や練習方法が考えられ、その中で学び合いといった仲間とかかわり合いも重要な学習であるとする。

(2) 児童の実態（男子\*名、女子\*名、計\*名）

本学級は、男女共に体を動かすことが好きな児童が多く、全体的に運動能力も高い。しかし、詳しく調べてみると、陸上運動等は得意だが、器械器具を使って自分の体を操作する運動は、比較的苦手という児童がやや多かった。また、これまでの様子から、仲間とコミュニケーションを図りながら課題を解決していくことや自ら練習方法や場を工夫することも苦手である。

(3) 指導にあたって（~~~~~は合理的配慮のための手立て）

集団演技を取り入れ、個人の課題解決や児童同士の話し合い活動の充実、チームワークの向上が図れるような活動を工夫したい。共同学習を通して、課題解決のための様々なアイディアも生まれ、練習方法や場の工夫も成されると考える。また、演技についてはチームで工夫し、それぞれの児童の能力に適した技を行うようにすることで、多くの技を習得することが難しい児童でも楽しさを実感し、怖さを感じないようにしたい。さらに、毎時間、友達と一緒に入念に柔軟体操や主運動につながる補助運動を取り入れることで、跳び箱運動における基本的な動きを理解するとともに、児童同士がうまくかかわり合えるようにしたい。

4 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
具学 体習 の活 評動 価に 規お 準け る	①約束を守り、運動する場所の安全に気をつけて◎進んで取り組もうとしている。 ②友だちと◎助け合ったり、励まし合ったりしながら、練習しようとしている。 ③器械・器具の準備や片付けを◎意欲的に行っている。	①できる技や段階が分かり、自分の力に適した課題を◎明確に持っている。 ②課題解決の方法を知るとともに、◎自分の課題に適した練習の場や練習法を考えている。	①跳び箱運動の基本の技が◎安定してできる。 ②新しい技、発展的な技に挑戦し、◎安定してできる技を増やすことができる。 ③仲間と◎動きを同調させて演技することができる。

◎は十分に満足できる状況

5 指導と評価計画（7時間扱い）

時間	学習のねらい・活動	評価計画		
		関	思	技
はじめ 1	<p>○運動の特性や学習のねらい，計画，内容を理解する。 ○跳び箱運動の学習準備をする。</p> <p>1 学習のねらいや方法を理解し，学習の進め方について知る。 ・単元の学習の流れや1時間の学習の進め方。 ・学習カードや資料等の使い方及び活用の仕方。 ・きまりの確認及び準備，片付けの仕方。</p> <p>2 試しの運動をする。 ・自分がどの程度できるか確認。</p>	①		①
なか 1 2 3	<p>ねらい①</p> <p>できる技でグループ演技を楽しみ，自分に合った課題を確認する。</p> <p>1 場の準備をし，準備運動，補助運動をする。 2 学習のねらいを確認する。 3 できる技でグループ演技に取り組む。 (演技のできばえや課題等について話し合う。) 4 課題を確認し，グループもしくはペアで課題解決に取り組む。 5 本時の学習を振り返る。 6 整理運動，後片付けをする。</p>			
なか ② 4 5 6	<p>ねらい②</p> <p>グループ演技の質を高め，友だちと練習の仕方や場の工夫をする。</p> <p>1 場の準備をし，準備運動・補助運動をする。 2 学習のねらいを確認する。 3 グループ演技に取り組む。 (グループでの演技の質，個人の課題等について話し合う。) 4 練習の仕方や場の工夫を凝らしながら，グループもしくはペアで課題解決に取り組む。(多くの練習時間を確保する。) 5 本時の学習を振り返る。 6 整理運動，後片付けをする。</p>	②③	①②	②③
まとめ 1	<p>〈発表会〉</p> <p>1 場の準備をし，準備運動，補助運動をする。 2 学習のねらいを確認する。 3 お互いにグループ演技を見合う。 4 単元のまとめをする。 5 整理運動，後片付けをする。</p>			③

6 本時の指導

(1) 目標

- 友だちと助け合ったり、励まし合ったりしながら練習しようとする。 (運動への感心・意欲・態度)
- 課題解決の方法を知るとともに自分の課題に適した場や練習法を考えている。 (運動についての思考・判断)

(2) 研究テーマに迫るための工夫・手立て (~~~~~は合理的配慮のための手立て)

- ペアでの学習時間を多く確保し、教え合いや励まし合い等の学び合う場を作る。
- 腰を高く上げて跳ぶための紅白玉や、切り返しを意識した開脚前転用練習板など技能向上のための教材・教具を準備する。
- ビデオカメラを用意し、演技を振り返ることができるようにする。

(3) 準備・資料

跳び箱、マット、ロイター板、距離調節器、開脚跳び用板、紅白玉、ポイントボード、ホワイトボード、学習カード、ビデオカメラ、掲示資料

(4) 展開 (6/7)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
はじめ 10分	<p>1 用具を準備し、準備運動・補助運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かえる倒立</li> <li>・かえる足打ち跳び</li> <li>・手押し車</li> <li>・馬跳び</li> </ul> <p>2 学習のねらいを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跳び箱を運ぶときの約束等を確認し、素早く準備するよう助言する。</li> <li>・身支度の確認と健康観察を行い、一人一人の様子を把握する。</li> <li>・補助運動を技にどうつなげていくか確認し、動きのポイントを押さえながら運動できるようにする。</li> <li>・イメージがしっかりつかめるよう支援する。</li> </ul>	
	めあて1 今できる技で、グループ演技しよう。		
なか 28分	<p>3 グループ演技に取り組む。</p> <p>(1) 前時まで習得した技でグループ演技を楽しむ。</p> <p>(2) 演技内容、個人の課題について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技の組み合わせやリズム、声の掛け合い等、<u>良くできている点は称賛し、意欲付けをする。</u></li> <li>●<u>うまく課題が見つからなかったり、話が進まなかったりしている児童にはアドバイスする。</u></li> </ul>	<p>&lt;関心・意欲・態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと助け合ったり、励まし合ったりしながら練習しようとしている。 (観察)</li> </ul>
	めあて2 今できる技の質を高めたり、新しい技に挑戦したりしよう。		
	<p>4 グループもしくはペアで課題解決に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習の場や練習法を考え、取り組む。</li> <li>・学習カードやポイントボードを活用してお互いにアドバイスや補助をし合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・励ましや助言をしている児童を称賛し、協力して学習する大切さを確認する。また、正確にできている児童を称賛する。</li> <li>●<u>あきらめがちな児童には補助したり、ポイントを示したりして技をクリアさせ、成就感が味わえるよう支援する</u></li> </ul>	<p>&lt;思考・判断&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決の方法を知るとともに自分の課題に適した場や練習法を考えている。 (観察・学習カード)</li> </ul>
まとめ 7分	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードに記入する。</li> <li>・次時の内容について知る。</li> </ul> <p>6 整理運動・後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習でうまくいったこと等を取り上げ、全体で共有する。</li> <li>・けが等をした児童がいないか確認する。また、全員で協力して片付けをするよう助言する。</li> </ul>	

●は特に個への配慮事項